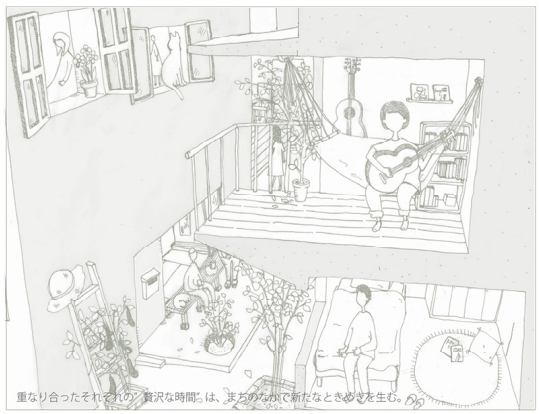
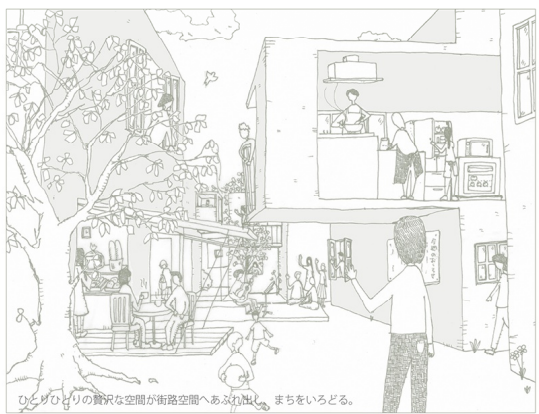
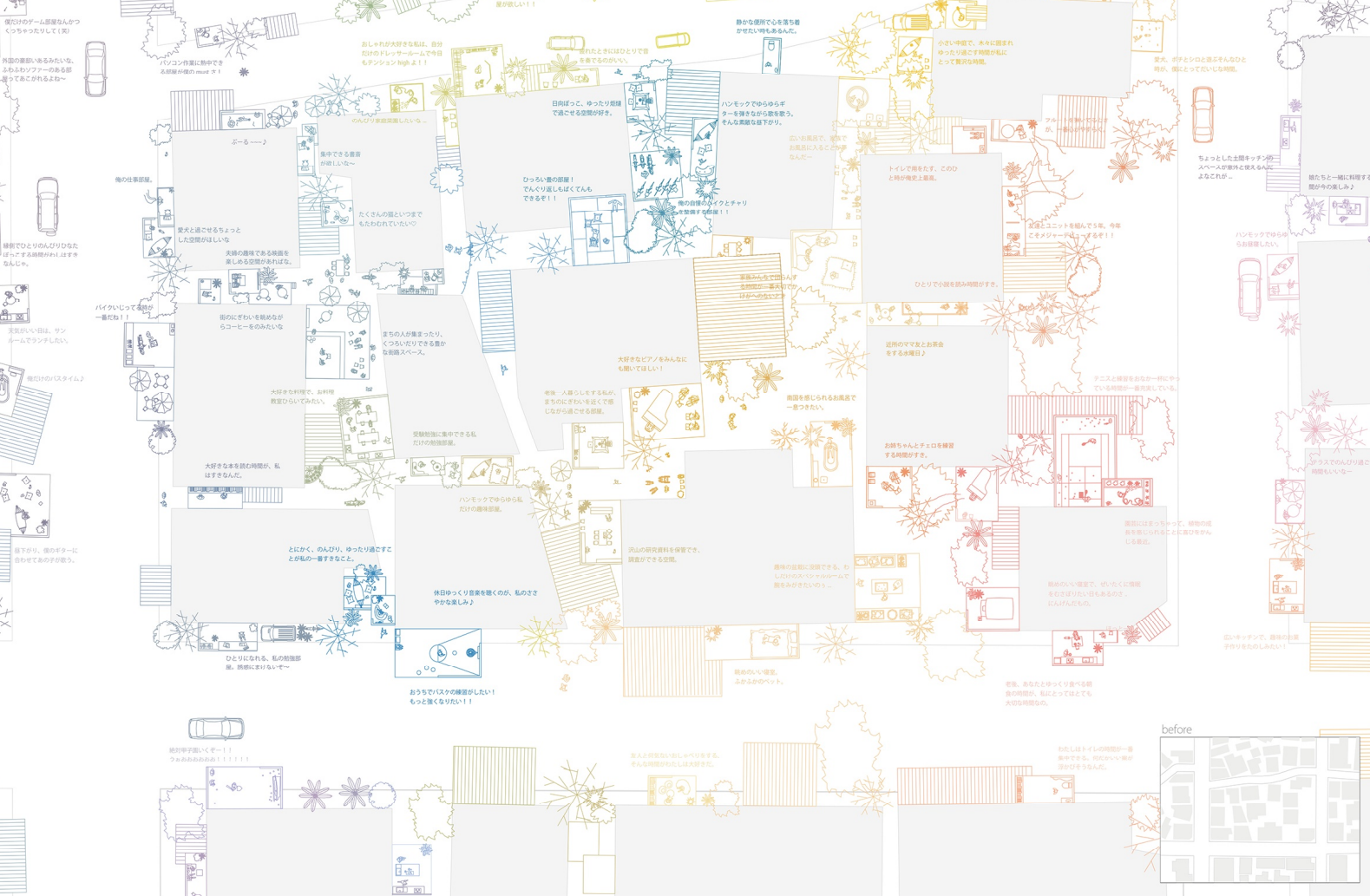


IRODOLIFE

まちの人、ひとりひとりの「贅沢な時」がウチからソトへあふれ出し、まちの中で重なり合ったとき、人々の暮らしは愉快に色づきはじめ...



もしも、僕らの「贅沢」をひろげたら

もしも僕らひとりひとりの「贅沢な時」を、ウチからソトへひろげたらどうなるだろう。今まで、ウチのなかだけで完結していたひとりひとりの「贅沢な時間」がウチからソトへ、そして、まちへとあふれたら。

隣のおじいさんにとって「贅沢な時間」とは、縁側でゆっくりとお茶をのむ時間かもしれない。はず向かいのおねーさんにとっては、ギターを弾きながら大好きな歌を歌う、そんな昼下りなのかもしれない。

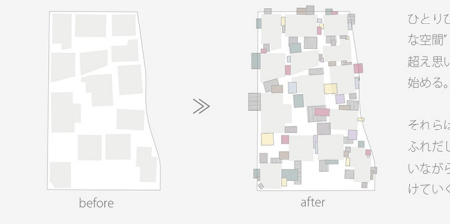
まちの人、ひとりひとりの「贅沢な時」がウチからソトへあふれ出し、まちの中で重なり合ったとき、人々の暮らしは愉快に色づきはじめ...

1 「枠」の中で育った 個々の「贅沢な時間」「贅沢な空間」をソトへ解放してみる【Diagram】



従来、私たちが考える「贅沢」な空間とは、ある決められた「枠」のなかで割り当てられて構成されたものだ。それを、ウチからソトへ思い切って延長させてみる。もとあった、既存の空間の壁をぶち抜いて、その空間だけソト(まち)へと拡大させてみる。

2 それらはまちにあふれ出し、互いに重なり合いながら成長していく【Plot plan】



[Section]



ひとりひとりの「贅沢な空間」は従来の枠を超え思い思いに育ち始める。それらは、まちにあふれだし、互いに重なり合いながらまちを色づけていく。

重なり合いのなかで、豊かな空間が育ち、まちに新たなときめきを生む。思い思いに広がり、町との関わりあいのなかで成長した「贅沢な空間」は、人々に彩りの人生をもたらしていく。